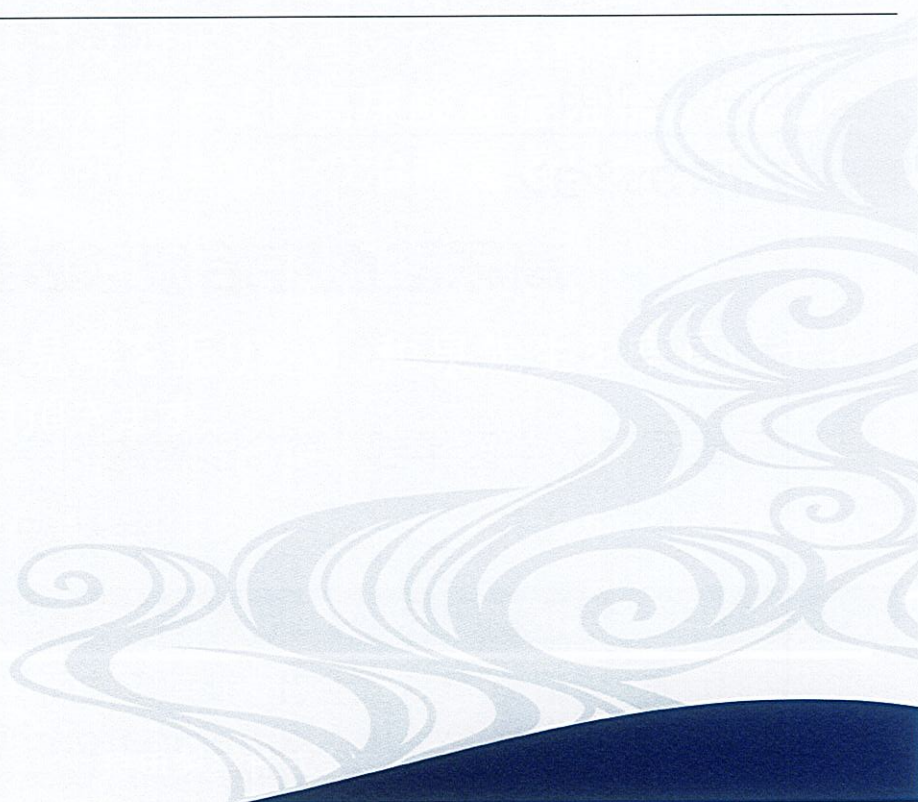




そこが知りたい!
高尿酸血症治療

2024年4月18日(木) 19:00~20:00



そこが知りたい！

高尿酸血症治療

日時

2024年4月18日(木)

19:00~20:00

開催
形式

ハイブリッド形式
Zoomウェビナー配信

会場

西宮商工会議所

地域経済交流センター会議室1B

総合
司会

関西労災病院 副院長

内科部長兼腎臓内科部長 **和泉 雅章** 先生

19:00~19:40

講演

CKDにおける高尿酸血症治療意義

林医院

院長 **林 功** 先生

兵庫医科大学医学部 総合診療内科学

准教授 **長澤 康行** 先生

19:40~20:00

ディスカッション

高尿酸血症治療は必要か？

林医院

院長 **林 功** 先生

兵庫医科大学医学部 総合診療内科学

准教授 **長澤 康行** 先生

日医生涯教育制度0.5単位申請中 カリキュラムコード 66：乏尿・尿閉

お問い合わせ先：持田製薬株式会社 神戸事業所 TEL：078-414-2071

担当：稲富 孝平 MAIL：kohei.inatomi@mochida.co.jp

共催：西宮市医師会内科医会 / 持田製薬株式会社

講演要旨

「高尿酸血症治療はCKDに有効か」

Pros & Cons

2024年4月18日(木) 19:00~20:00

西宮商工会議所

高尿酸血症を認めるCKD患者において、尿酸値の低下が腎機能障害の進行抑制につながるかことが示唆されています。一方で欧米ではCKD患者においても、無症候性の高尿酸血症に対して薬物治療は必要ないという立場の先生も少なからずいます。

本講演では一般開業医の立場から林先生に「高尿酸血症治療がCKDの転帰を改善することを裏付ける医学的根拠は十分ではない」という反対ポジションでご講演を頂いた後、腎臓専門医である長澤先生より高尿酸血症治療がCKDの予後改善につながる可能性やその治療意義について切り込んで頂きます。

後半では両者のご見解を振り返り、和泉先生を座長にディスカッションを展開頂きます。

※Pros & Consとはディベート用語であり、賛成派・反対派に分かれてロジカルに議論を戦わせることを意味しています。

会場案内

■会場 西宮商工会議所 地域経済交流センター会議室1B

〒662-0854 西宮市櫛塚町2-20

最寄り駅：JR西宮駅から徒歩9分、阪神西宮駅から徒歩8分

■定員 **20名**（会場にはお弁当とお茶をご用意しております）

※先着順とさせていただきますのでご了承ください。

■会場参加をご希望の先生方は

4月15日（月）までにお申し込みをお願い申し上げます。

お申し込み方法

下記項目をメールまたはFAXにてご連絡ください。

メール：kohei.inatomi@mochida.co.jp

FAX：078-412-0462

講演会担当者：持田製薬株式会社 稲富 孝平



お申し込みメール
自動作成コード

- ①メールアドレス： _____
- ②ご参加形式：会場参加 ・ Web参加 どちらかに○を付けてください
- ③ご施設名： _____
- ④ご氏名： _____
- ⑤市区町村： _____
- ⑥医籍登録番号： _____

【個人情報の取り扱いについて】

ご記憶いただきました情報は、持田製薬（株）における医薬品の適正使用にかかわる情報提供活動に使用させていただく場合がございます。

また、安全管理のために必要な措置をとり、第三者に提供することなく管理いたします。